

2022年度 第3四半期 決算説明資料

2023年2月8日

リンナイ株式会社

Rinnai

2022年度 第3四半期 連結決算要点

売上高 : **3140.9億円** (前期比: +14.7%)

過去最高

日本は給湯機器が堅調に推移。海外もアメリカ・中国等での販売増加や為替換算影響により増収

営業利益 : **336.8億円** (前期比: +20.1% 利益率: 10.7%)

過去最高

原材料価格・エネルギーコストの高騰の中、増収により増益

経常利益 : **364.8億円** (前期比: +20.0% 利益率: 11.6%)

過去最高

親会社株主に帰属する

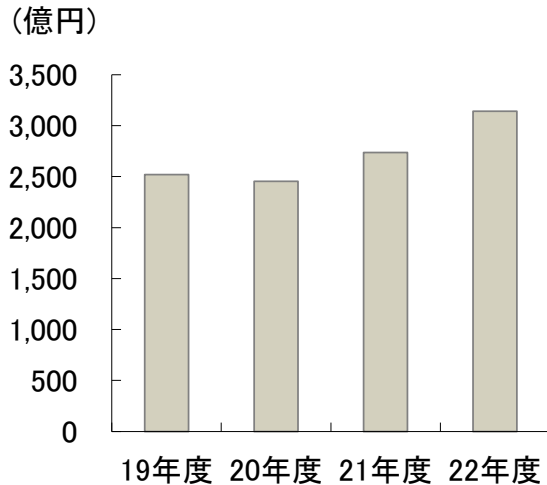
四半期純利益 : **214.2億円** (前期比: +16.7% 利益率: 6.8%)

過去最高

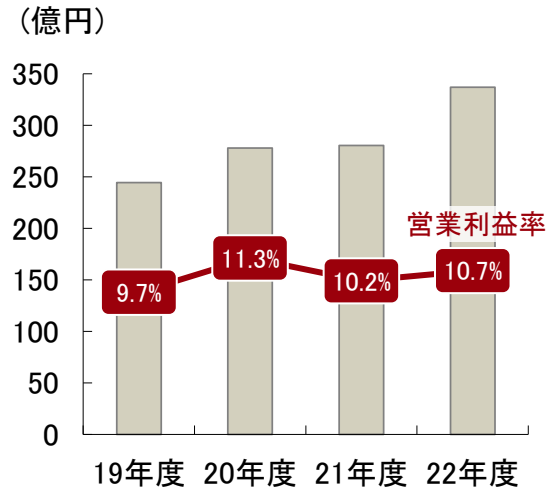
- 物価高・金利高による景気下振れ懸念の中、主要国を中心に販売が増加
- 売上・利益とも過去最高更新も、各種コスト増が利益を圧迫

連結業績推移(第3四半期)

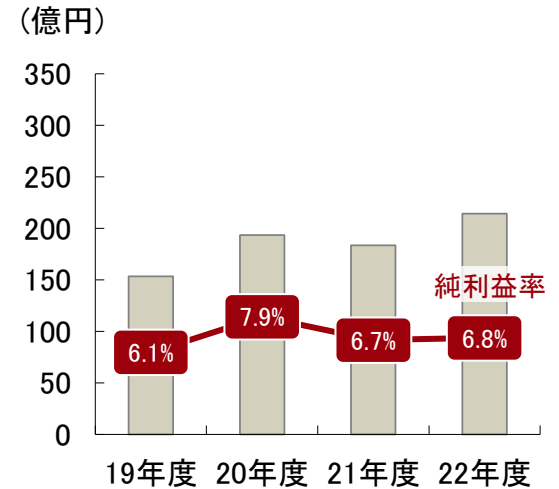
売上高



営業利益



親会社株主に帰属する 四半期純利益



- 売上高は国内外の販売増や為替換算影響により2期連続で過去最高を更新
- 営業利益は増収により過去最高更新も、原材料やコスト増により利益率は鈍化

2022年度 第3四半期 機器別売上高の内訳

[単位:億円]

機器別	2021年度		2022年度		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
給湯	1571.4	57.4%	1858.5	59.2%	+287.1	+18.3%
厨房	645.4	23.6%	701.0	22.3%	+55.5	+8.6%
空調	167.9	6.1%	178.5	5.7%	+10.6	+6.3%
業用	65.7	2.4%	78.8	2.5%	+13.1	+20.0%
その他	287.0	10.5%	323.9	10.3%	+36.8	+12.8%
合 計	2737.6	100.0%	3140.9	100.0%	+403.2	+14.7%

2022年度 第3四半期 連結損益実績内訳

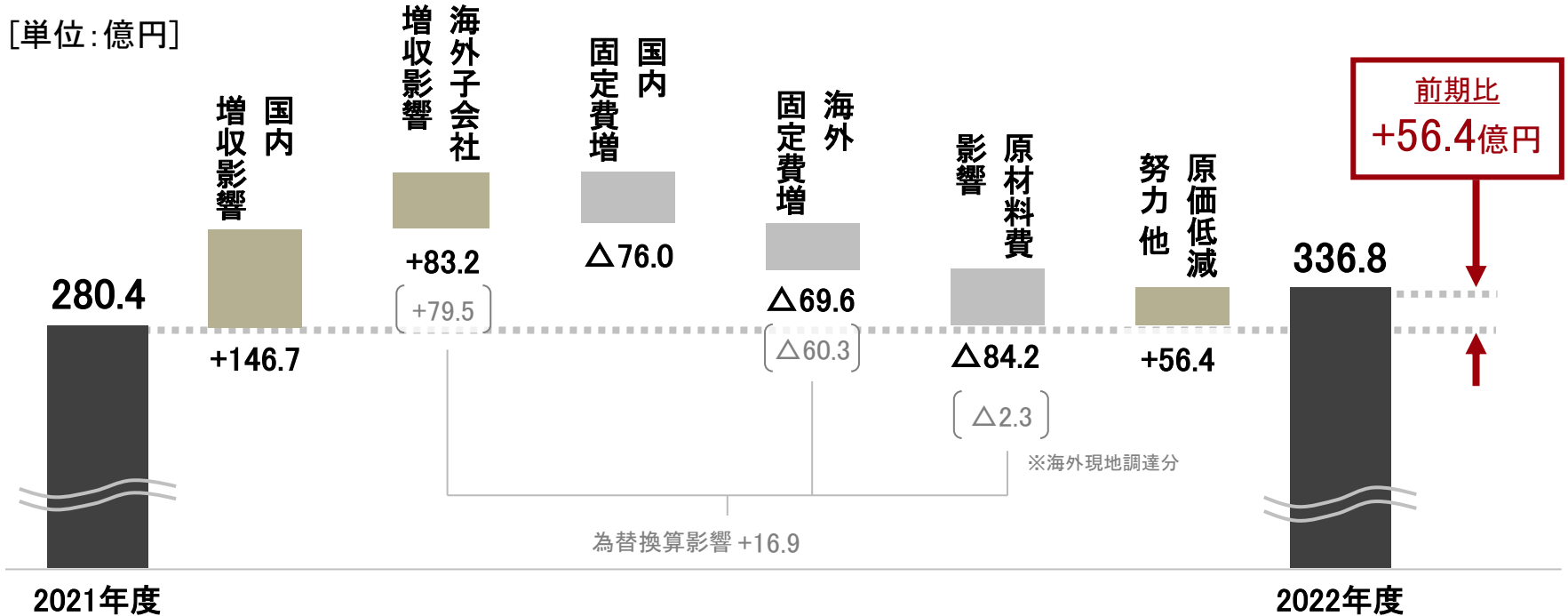
[単位: 億円]	売上高	前期比 増減率	営業利益	前期比 増減率	営業利益率	前期比 増減率
連結	3140.9	+14.7%	336.8	+20.1%	10.7%	+0.5pt



	売上高	前期比 増減率	営業利益	前期比 増減率	営業利益率	前期比 増減率
リンナイ	1869.7	+20.8%	175.0	+56.2%	9.4%	+2.1pt
国内関連	855.9	+17.6%	28.7	+38.4%	3.4%	+0.5pt
海外関連	1748.6	+14.2%	145.1	△1.0%	8.3%	△1.3pt
合計	4474.3	+17.5%	348.9	+24.8%	7.8%	+0.5pt

2022年度 第3四半期 連結営業利益分析

[単位:億円]



原材料価格や物流費、エネルギーコスト高騰の中、国内外の販売伸長で増益

リンナイ単体 2022年度 第3四半期 実績

- 供給遅延解消に向けた生産強化で給湯機器を中心に販売伸長
- 販売増により売上・営業利益とも第3四半期での過去最高更新も、
原材料価格/エネルギーコスト高騰の影響大きく、利益率は鈍化



ビルトインコンロ



ハイブリッド給湯器



ガス衣類乾燥機



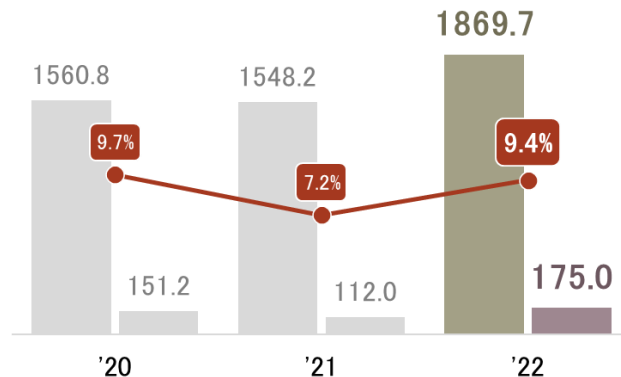
食器洗い乾燥機

(億円)

	2021年度	2022年度	前期比増減率
売上高	1548.2	1869.7	+20.8%
営業利益	112.0	175.0	+56.2%
営業利益率	7.2%	9.4%	+2.1pt

リンナイ単体 第3四半期 実績

■:売上高 ■:営業利益 ●:営業利益率 (単位:億円)



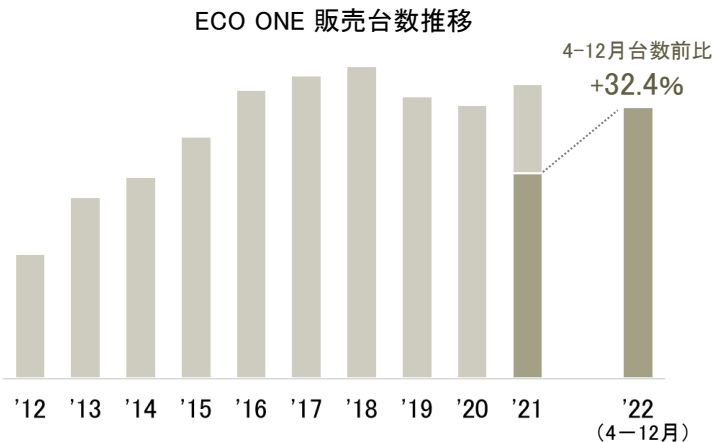
(販売台数:国内)

	前期比増減率
給湯暖房機	+35.1%
ふろ給湯器	+22.2%
ビルトインコンロ	△0.7%
ガス衣類乾燥機	+8.3%

リンナイ単体 トピック ECO ONE

■ ECO ONE 販売台数が第3四半期での過去最高を更新

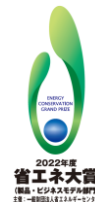
- ・カーボンニュートラル実現に向けた取組みの加速や、新世代「ECO ONE X5」の発売により販売が伸長（第3四半期 販売台数 前年同期比+32.4%）
- ・通期においても過去最高の販売台数を更新する見込み



ハイブリッド給湯・暖房システム ECO ONE X5 (2022/6/15発売)

■ 2022年度省エネ大賞 資源エネルギー庁長官賞 受賞(製品・ビジネスモデル部門)

- ・新制御「ターボヒーティング」による高い省エネ性とフレキシブルな設置性が評価され、受賞



■ 集合住宅専用モデルを追加 (2023/9/1 発売)

- ・バルコニーやパイプシャフトに設置可能な省スペース設計
- ・非常用水の確保によるレジリエンス性の向上
- ・業界トップクラスの省エネ性でマンションのZEH化に貢献



リンナイアメリカ 2022年度 第3四半期 実績

- 日本からのタンクレス給湯器の供給増加に伴い、現地販売が伸長
- 販売増により、単四半期は増収増益。累計での営業赤字も縮小
- 金利上昇に伴う住宅市況の悪化で現地需要は弱含み



タンクレスガス給湯器



高効率ガス給湯器

SENSEI

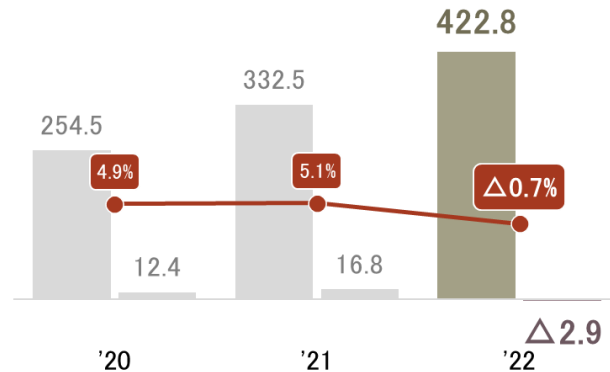


高効率ボイラー

(億円)	2021年度	2022年度	前期比増減率	
			円貨	現地通貨
売上高	332.5	422.8	+27.1%	+7.8%
営業利益	16.8	△2.9	-	-
営業利益率	5.1%	△0.7%	-	-

リンナイアメリカ 第3四半期 実績

■:売上高 ■:営業利益 ●:営業利益率 (単位:億円)



(販売台数)

前期比増減率

タンクレス給湯器

△2.4%

内)高効率タイプ

+7.9%

上海林内 2022年度 第3四半期 実績

- 上海市のロックダウン解除後、生産・販売活動の挽回進む
- 高付加価値商品、ECサイトの実店舗販売が好調
- 販売増とミックス改善により、累計で営業増益に転換



給湯器



ビルトインコンロ



レンジフード



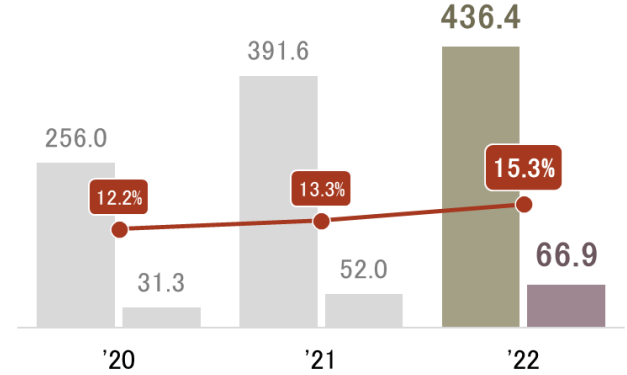
ボイラー

(億円)

	2021年度	2022年度	前期比増減率	
			円貨	現地通貨
売上高	391.6	436.4	+11.4%	△3.3%
営業利益	52.0	66.9	+28.6%	+11.6%
営業利益率	13.3%	15.3%	+2.0pt	

上海林内 第3四半期 実績

■: 売上高 ■: 営業利益 -●-: 営業利益率 (単位: 億円)



(販売台数)

	前期比増減率
給湯器	+11.4%
ビルトインコンロ	△17.2%
レンジフード	△37.1%
ボイラー	△21.2%

リンナイオーストラリア 2022年度 第3四半期 実績

■ タンクレス給湯器・暖房機器販売は徐々に回復も

第2四半期までの日本からの供給遅延が響き、現地通貨では減収

■ 販売減少に加え、原材料価格・物流費高騰により減益



タンクレス給湯器



電気タンク式給湯器

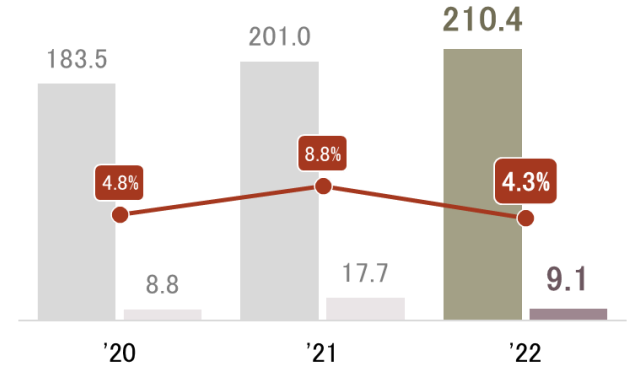


ダクト式冷暖房システム

(億円)	2021年度	2022年度	前期比増減率	
			円貨	現地通貨
売上高	201.0	210.4	+4.7%	△4.6%
営業利益	17.7	9.1	△48.7%	△53.2%
営業利益率	8.8%	4.3%	△4.5pt	

リンナイオーストラリア 第3四半期 実績

■:売上高 ■:営業利益 ●:営業利益率 (単位:億円)



(販売台数)

開放型暖房機

△33.0%

業務用空調機

+27.1%

ダクト式冷暖房システム

△6.5%

リンナイ코리아 2022年度 第3四半期 実績

- 物価や金利上昇による景況感の悪化が続き、ボイラー販売が減少
- 販売減少、原材料価格高騰の中、経営改善活動により増益



親環境ボイラー

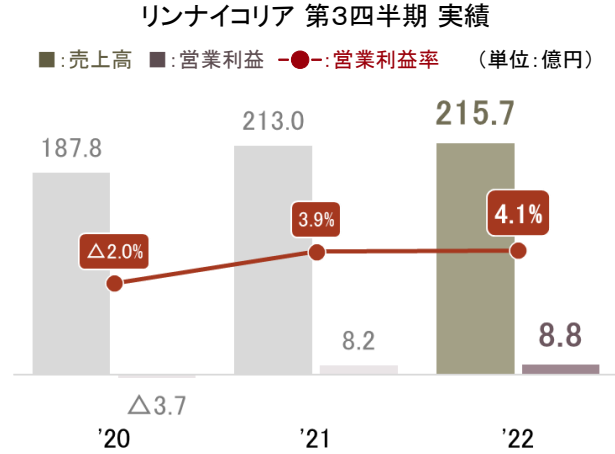


ガスコンロ



電気コンロ

(億円)	2021年度	2022年度	前期比増減率	
			円貨	現地通貨
売上高	213.0	215.7	+1.3%	△3.5%
営業利益	8.2	8.8	+7.7%	+2.6%
営業利益率	3.9%	4.1%	+0.2pt	



(販売台数)	前期比増減率
ボイラー	△17.9%
ガスコンロ	△0.7%
電気コンロ	+17.4%

リンナイインドネシア 2022年度 第3四半期 実績

- テーブルコンロが弱含むも、ビルトイン商材の販売増で増収
- 原材料価格高騰の影響で減益も、利益率は徐々に改善



テーブルコンロ



ビルトインコンロ

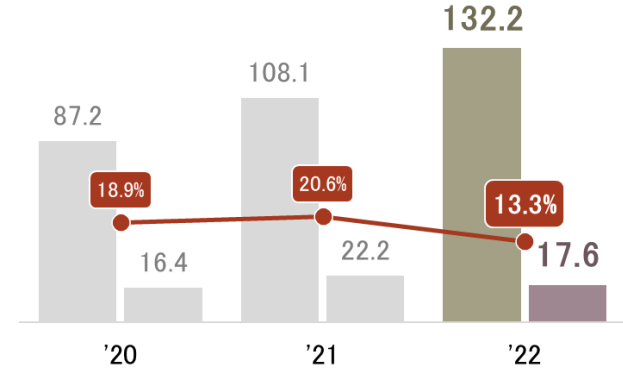


レンジフード

(億円)	2021年度	2022年度	前期比増減率	
			円貨	現地通貨
売上高	108.1	132.2	+22.3%	+6.3%
営業利益	22.2	17.6	△20.8%	△31.2%
営業利益率	20.6%	13.3%	△7.3pt	

リンナイインドネシア 第3四半期 実績

■:売上高 ■:営業利益 ●:営業利益率 (単位:億円)



(販売台数)

前期比増減率

テーブルコンロ	△4.1%
ビルトインコンロ	+25.8%
レンジフード	+36.3%

第3四半期実績と第4四半期見通し

第3四半期 実績

アメリカ・中国を中心に販売増。日本は主力商品伸長も原材料高が響き、収益性が鈍化

- 日本… 受注残解消に向け、給湯機器販売が伸長。供給遅延により落ち込んだ前年対比では大幅増収
販売増による増益も、鉄鋼を中心とした原材料価格・エネルギーコストの高騰が利益を圧迫
- 海外… **アメリカ**/住宅市況悪化の中、日本からの給湯器供給が増加。受注残解消を伴って現地販売が伸長
中国/上海市ロックダウン以降、生産・販売の巻き返しにより売上・利益とも伸長。ECサイトの実店舗販売も好調
オーストラリア/日本からのタンクレス給湯器・暖房機器供給は徐々に回復も上期までの販売減少やコスト高が響く
韓国/市況悪化によりボイラー販売が弱含み **インドネシア**/ビルトイン商材好調も、原材料高により減益

第4四半期 見通し

需要の鈍化傾向に加え、物価/エネルギーコスト高騰により収益性の回復に遅れ

- 日本… 生産体制の強化を継続し、受注残の早期解消を図る。利益面は原材料価格・エネルギーコスト高騰による影響が続く
- 海外… **アメリカ**/住宅市況悪化により、新築・改築需要が減速。市場環境厳しい中、通期での営業赤字解消を見込む
中国/高付加価値商品、ECサイトの実店舗販売が伸び、第3四半期の好調が継続
オーストラリア/タンクレス給湯器の回復に加え、電気タンク式給湯器・ヒートポンプ給湯器が堅調
韓国/主力のボイラー販売苦戦に加え、業務用フライヤーにおいて点検費用が発生し、利益を下押し
インドネシア/物価高を受け個人消費が弱含む中、ビルトイン商材は引き続き好調な販売が見込まれる

2022年度 通期 連結業績予想

[単位:億円]	期初発表 予想(A)	11/4発表 予想(B)	増減額 (B)-(A)	増減率	前期実績	(参考) 前年比
売上高	4000	4250	+250	+6.3%	3661	+16.1%
営業利益	410	440	+30	+7.3%	358	+22.7%
経常利益	425	485	+60	+14.1%	390	+24.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	255	295	+40	+15.7%	237	+24.2%

市況悪化懸念、原材料高騰等の不確実性増すも、2022/11/4発表の修正計画数値は据置き

株式分割・社員への株式交付

■ 株式分割

最低投資金額の引き下げにより、
流動性の向上および投資家層の拡大を図る

分割の割合	1株▶ 3株
基準日	2023年3月31日(金)
効力発行日	2023年4月1日(土)

■ 社員持株会RSの導入

社員の福利厚生拡充と株主目線による
会社業績向上への意識醸成を目的として、
譲渡制限付株式(RS)を付与

取締役・執行役員 株式報酬制度の導入(2021年度~)



社員 株式付与



企業価値向上に向けた取り組みを推進

本資料に掲載されております業績予想や将来予想は、現時点において入手可能な情報に基づき当社が判断して予想したものであり、実際の業績は今後様々な要因の変化により予想とは異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。